事例No.	2143
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	山口県宇部市

事例区分	DX

タグ	・ICT ・福祉・介護 ・人材確保・育成

事例種類	デジタルデバイド対策

事例内容・タイトル

地域の要望に応じた高齢者向けスマホ教室の開催

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

163 地域の要望に応じた高齢者向けスマホ教室の開催【山口県宇部市】

事業の概要

○　宇部市では、デジタルデバイド対策として、市内の24地区のふれあいセンター等において、各2回のスマホ講座を実施している。

○　全2回の講座内容を、初級編、検索編、アプリ編、LINE編の中から、事前のアンケート等をもとに、各地区が希望するコースで実施している。

○　地区の実情に合わせ、同じ講座内容を２回実施することも可能である。

○　一方方向の研修ではなく、住民とのコミュニケーションを大切にし、また、無償のボランティアスタッフとして大学生が高齢者をサポートするなど、多世代交流も図りながら、講座が展開される仕組みとなっている。



チラシ

【参考情報①】 人口：16.3万人
関連URL：
https://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/kouhou/kishahappyou/1008059/1013882/1014035.html（市HP）

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



社会のデジタル化の進行に加えて、コロナ禍による地域活動の停滞という課題に対し、高齢者がスマートフォンを活用して自宅等にいながら行政手続きや地域交流を図ることができるようにするため、スマホ講座を実施することとしました。

（宇部市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



内閣府の地方創生推進交付金を活用して、事業を実施しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



初級編の講座に参加された高齢者の方の大半は、ほとんどスマホに触ったことがないという方であり、受講者１人か２人に対してサポートする人が１人付くことが望ましい状況であったため、多世代交流を図り地域を一体化するということも含めて、無償のボランティアスタッフや地域の中学・高校・大学生など大勢の方にサポート役として参加してしていただくことが重要ではないかと思います。

★担当：宇部市市民活動課★

令和3年度事業費　2,949千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　1,474千円）